

## 高速増殖原型炉もんじゅ安全性総点検等に係る改訂報告書の提出について

当機構は、平成13年6月29日に経済産業省原子力安全・保安院（以下保安院）へ提出した「高速増殖原型炉もんじゅ安全性総点検に係る対処及び報告について」に基づき、平成18年10月5日に高速増殖原型炉もんじゅ安全性総点検等に係る報告書を保安院に提出しました。（平成18年10月5日発表済み）

今回、高速増殖原型炉もんじゅ安全性総点検に係る対処及び報告（第3回報告）について記載の追加などを行い、改訂報告書を保安院に提出しました。改訂した概要は以下のとおりです。

### 1. 「品質保証体制、体系の見直し」に係る主要な改訂内容

文書管理について、単一課で使用する三次文書の管理は担当課で行うこととしていることから、品質保証課においても各課の三次文書の把握を行うとともに、また他の品質マネジメント文書との整合性の確認を行うようにすることを報告書に追記した。

### 2. 「設計審査の充実」に係る主要な改訂内容

- (1) より良い設計審査の仕組みとする改善として、基本設計段階と詳細設計段階に分けた設計管理等について検討を行う旨、報告書に追記した。
- (2) 設計審査チェックシートの運用は、審査者の力量によるところが大きいとの観点から、設計審査員の力量管理について充実するよう要領書を見直す旨、報告書に追記した。
- (3) 設計審査チェックシートの上覧者、主任者の合議の観点について、要領書に明記する旨、報告書に追記した。
- (4) ナトリウム漏えい対策に係る設計審査のプロセスを分かり易くするために「ナトリウム漏えい対策のための検討と設計審査経緯について」の資料を追加した。

### 3. 「最新技術情報の反映機能の強化」に係る主要な改訂内容

国内原子力発電プラントの事故・故障情報について、より広い範囲の情報の収集の観点から、NUC I Aの保全品質情報や原子力機構が学会等で発表した論文などの技術情報（外部発表情報）も収集範囲とするよう要領書を改正する旨、報告書に追記した。

### 4. 「品質保証関連事項等の教育の充実」に係る主要な改訂内容

教育訓練計画を推進するため、平成19年度に向けて個人別教育訓練計画を全課員について作成する旨、報告書に追記した。

参考：高速増殖原型炉もんじゅ安全性総点検指摘事項への対応実績と計画

高速増殖原型炉もんじゅ安全性総点検指摘事項への対応実績と計画

項目 番号	安全性総点検指摘事項	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
		4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1
	1) 設備改善										
	(1) ナトリウム漏えい対策の設備改善										
1	(i) ナトリウム漏えいの早期検知										
2	(ii) ナトリウム漏えいの抑制										
3	(iii) ナトリウム漏えいの影響緩和										
	(2) 信頼性向上等を目的とした設備改善 (Na漏えい対策以外の設備の改善)										
4	(i) プラント信頼性の向上										
5	(ii) プラント機能の向上										
6	(iii) 運転操作性の向上										
7	(iv) 作業安全性の向上										
8	(v) 保守性の向上										
	2) 品質保証体系・活動の改善										
	(1) 品質保証体制、体系の見直し										
9	(i) 品質保証体制の強化										
10	(ii) 品質保証体系の見直し、整備										
	(2) 品質保証活動の改善										
11	(i) 設計審査の充実										
12	(ii) 最新技術情報の反映機能の強化										
13	(iii) 品質保証関連事項等の教育の充実										
14	(iv) 保修票発行基準の明確化										
15	(v) 不適合管理の適正化										
16	(vi) 内部監査等の充実										
17	(vii) メーカー品質保証監査の実施										
18	(viii) 確実な保守の実施										
19	(ix) 文書合議基準等の見直し										
	3) 運転手順書、運転管理体制等の改善										
	(1) 運転手順書類の体系化、改正手続きの改善										
20	(i) 運転手順書類の体系化										
21	(ii) 運転手順書類改正手続きの改善										
	(2) 運転手順書記載方法、内容等の改善										
22	(i) 異常時運転手順書記載内容の充実										
23	(ii) 手順書間の記載の整合性										
24	(iii) 微候ベースの運転手順書の導入計画										
	(3) 運転員教育、運転体制等の充実強化										
25	(i) 運転員教育・訓練の改善										
26	(ii) 運転体制の充実・強化										
27	(4) 事故時対応体制の改善										
	4) 安全性研究等の反映										
	(1) 蒸気発生器伝熱管破損対策										
28	(i) 評価手法検証										
29	(ii) 設備改善（基本仕様の検討含む）										
30	(2) 燃料温度評価の高度化 最新評価手法を用いた燃料温度評価										
31	(3) 制御棒の長寿命化 制御棒の長寿命化研究開発										

■：第1回報告（平成13年7月27日）、◆：第1回改訂報告（平成14年5月31日）、▲：第2回報告（平成14年6月19日）、▼：第2回改訂報告（平成14年11月22日）

▲\*：第3回報告（報告：平成18年10月5日、改訂報告：平成18年12月1日）

△：報告予定時期（\*：第4回報告/ナトリウム漏えい対策工事完了時期を別途）